



タイトル「**2024年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS2801		
科目名	海外実地研修		
担当教員	山本 大		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	集中		
講義室		単位区分	選
授業形態	実習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基礎		
科目小分類	留学・海外研修		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 〔DP1-D〕 市民的素養・市民的教養 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 〔DP1-A〕 日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢 自国のスポーツ文化を理解し、スポーツを通じた国際的教養人としての感性を高めることができる。 〔DP7-C〕 倫理観と公共心 スポーツをとおして社会にある多様な価値を受容し対立を乗り越え、協働を通じて社会の安定を希求する公共心を高めることができる。 〔DP7-L〕 協働力・牽引力 スポーツをとおして社会にある多様な価値を受容し対立を乗り越え、協働を通じて社会の安定を希求する公共心を高めることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 D1 市民的素養と参加（ 30 %） A1 グローバル感覚（ 20%） A2 異文化適応（ 20%） C1 倫理的思考・社会認識（ 15 %） L1 チームワーク（ 15 %）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発の目標ステージとの対応 2 進行期 ～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	これまでに得られた競技スポーツを含むスポーツの知識をベースに,異なる文化的・社会的背景をもつ海外でのスポーツの概念を理解することによって,自国にはないスポーツの価値や,新たな発想を行うためのより多くの知見を得ることから,スポーツの多様化の進展について学習します。授業形態は事前講義,実習,事後演習といった形式で行われ,年度毎にコーチングや,ビジネスといったキーワードを設定し,赴く海外現地でのスポーツに関する実情を事前に調査,研究し,その後実際に現地を訪れ,おおよそ2週間かけてその実態を調査し,帰国後調査報告を行います。授業形態は(講義・実技・実習・演習)形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード スポーツ文化・グローバリゼーション・ローカリゼーション		

授業の趣旨	■副題 海外のスポーツの文化、環境、社会での位置付け・関係性を実感し、日本のスポーツの状況と比較しながら考察しましょう。 ■授業の目的 海外のスポーツ組織、施設、イベントを視察し、指導現場、準備・運営現場に携わる現地の方々との交流、対話を通じてスポーツコーチング、スポーツマネジメント、スポーツマーケティング、スポーツビジネスなどのそれぞれの分野における実践的な知識を身につけられる様にする。 ■授業のポイント 世界では、人々のスポーツに関わる環境はそれぞれの国の文化、習慣、制度に加え、そのスポーツそのものの文化や習慣によっても異なります。視察する地でのそれぞれのスポーツと社会の背景、環境を考察することで、日本で自身が関わるスポーツ環境をより良い状況へ整えるための施策のアイデアを、よりグローバルな視点で考え、構築することができる能力を養成します。 また、現地の人々と積極的に交流することにより、異文化を受け入れるオープンなマインドを促進します。	
総合到達目標	■自身の関わるスポーツの環境をより良い環境へと整える際の反省的実践家として、グローバルな視点で課題発見と処方する能力を修得する。 ・自身の関わるスポーツ環境についての課題を海外のスポーツ環境と比較しながら説明できる（第1回、2回、14回、15回） ・海外におけるスポーツの環境の特性を説明できる（第3回～第13回） ・現地関係者とのコミュニケーションを通じ、異文化を理解する姿勢を促進することができる（第3回～第13回） ・自身の関わるスポーツ環境の改善施策をグローバル視点を踏まえ提案できる（第14回～第15回）	
成績評価方法	■リアクションペーパー5回（50%）：適用ルーブリック D1、L1 （評価の観点）授業の内容を理解してうえで、自身の提議する課題と関連付けながら記述できているかを評価します。 （フィードバック方法）事後研修で優れたリアクションペーパーの内容紹介と解説を行います。 ■レポート1回（50%）：適用ルーブリック D1、L1 （評価の観点）コミュニケーションを通して得た知識の理解度と課せられたタスクの進行度を評価します。 （フィードバック方法）事後研修で優れたレポートの内容紹介と解説を行います。	
履修条件	海外実地研修の諸条件を遵守できること	
履修上の注意点	海外実施研修では、語学力に関わらず現地の関係者との積極的なコミュニケーションを図る姿勢が求められます。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ 事前研修1 オリエンテーション（全体テーマおよび進め方の説明） ②授業概要 本科目の概要、授業の進め方と評価および学習を行うにあたって留意すべき点などについて概説し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。 ③予習（120分） シラバスの内容を一読し、インターネットでの検索や図書館等にある現地ガイドブックなどを活用し訪問予定地の概要及び、授業内容の全体像を把握する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、授業の全体像や評価等、自分の学習計画などについて確認する。
	2	①授業テーマ 事前研修2 訪問地のスポーツ環境について ②授業概要 現地での活動を円滑に行うため、適切な人数のグループに分かれ、それぞれのグループで訪問する都市のスポーツ環境、行政、スポーツ施設、イベントについて事前知識を深めるとともに、その特徴について述べるようになる。日本国内のスポーツ環境の特徴、課題、訪問予定地の相当する日本国内の組織、施設について特徴や課題を述べるようになる。（D1,L1） ③予習（120分） 訪問箇所を事前に調べ、疑問点などについてグループで議論できるように整理する。 ④復習（120分）

	講義ノートおよびポータルサイトの授業資料を確認し、現地訪問時に考察する要点について整理する。
3	①授業テーマ スポーツクラブ（プロスポーツ、アマチュアスポーツ）、スポーツに関連する組織、自治体等への訪問・視察① ②授業概要 スポーツクラブ、スポーツに関連する組織、行政などを訪問、視察し、訪問国・訪問都市におけるスポーツに関連するビジネス、スポーツ行政の特徴、課題について日本と比較しながら述べるができるようになる（D1,A1,A2,D1,C2）。 ③予習（120分） 事前研修時に示す資料、WEBページ等を参照し訪問・視察するスポーツ組織についての事前調査を確認し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 視察での要点について整理し、取り組んだ課題について再度確認をする。
4	①授業テーマ スポーツクラブ（プロスポーツ、アマチュアスポーツ）、スポーツに関連する組織、自治体等への訪問・視察② ②授業概要 スポーツクラブ、スポーツに関連する組織、行政などを訪問、視察し、訪問国・訪問都市におけるスポーツに関連するビジネス、スポーツ行政の特徴、課題について日本と比較しながら述べるができるようになる（D1,A1,A2,D1,C2）。 ③予習（120分） 事前研修時に示す資料、WEBページ等を参照し訪問・視察するスポーツ組織についての事前調査を確認し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 視察での要点について整理し、取り組んだ課題について再度確認をする。
5	①授業テーマ スポーツクラブ（プロスポーツ、アマチュアスポーツ）、スポーツに関連する組織、自治体等への訪問・視察③ ②授業概要 スポーツクラブ、スポーツに関連する組織、行政などを訪問、視察し、訪問国・訪問都市におけるスポーツに関連するビジネス、スポーツ行政の特徴、課題について日本と比較しながら述べるができるようになる（D1,A1,A2,D1,C2）。 ③予習（120分） 事前研修時に示す資料、WEBページ等を参照し訪問・視察するスポーツ組織についての事前調査を確認し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 視察での要点について整理し、取り組んだ課題について再度確認をする。
6	①授業テーマ スポーツクラブ（プロスポーツ、アマチュアスポーツ）、スポーツに関連する組織、自治体等への訪問・視察④ ②授業概要 スポーツクラブ、スポーツに関連する組織、行政などを訪問、視察し、訪問国・訪問都市におけるスポーツに関連するビジネス、スポーツ行政の特徴、課題について日本と比較しながら述べるができるようになる（D1,A1,A2,D1,C2）。 ③予習（120分） 事前研修時に示す資料、WEBページ等を参照し訪問・視察するスポーツ組織についての事前調査を確認し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 視察での要点について整理し、取り組んだ課題について再度確認をする。
7	①授業テーマ 主要スポーツスタジアム・アリーナ、大規模スポーツイベントスタジアム・アリーナ等への訪問・視察 ②授業概要 訪問国・訪問都市の主要なスポーツスタジアム・アリーナを訪問・視察し、その施設に関連するスポーツの歴史、特徴、課題について、日本国内の状況と比較しながら考察することができるようになる（D1,A1,A2,D1,C2）。 ③予習（120分） 事前研修時に示す訪問・視察先のスタジアム・アリーナ及び、その施設に関連するスポーツについて、取り組んだ事前調査を確認し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 視察での要点について整理し、取り組んだ課題について再度確認をする。

8	①授業テーマ 競技スポーツトレーニング拠点① ②授業概要 訪問する国・都市に存在する競技スポーツ強化拠点あるいは、主要なトレーニング施設を訪問・視察し、その国におけるエリートスポーツの強化施策等について考察することができるようになる（D1,A1,A2,D1,C2）。 ③予習（120分） 事前研修時に示す資料やWEBページ等を参照し、訪問する施設について取り組んだ事前調査を確認し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 視察での要点について整理し、取り組んだ課題について再度確認をする。
9	①授業テーマ 競技スポーツトレーニング拠点② ②授業概要 訪問する国・都市に存在する競技スポーツ強化拠点あるいは、主要なトレーニング施設を訪問・視察し、その国におけるエリートスポーツの強化施策等について考察することができるようになる（D1,A1,A2,D1,C2）。 ③予習（120分） 事前研修時に示す資料やWEBページ等を参照し、訪問する施設について取り組んだ事前調査を確認し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 視察での要点について整理し、取り組んだ課題について再度確認をする。
10	①授業テーマ 競技スポーツトレーニング拠点③ ②授業概要 訪問する国・都市に存在する競技スポーツ強化拠点あるいは、主要なトレーニング施設を訪問・視察し、その国におけるエリートスポーツの強化施策等について考察することができるようになる（D1,A1,A2,D1,C2）。 ③予習（120分） 事前研修時に示す資料やWEBページ等を参照し、訪問する施設について取り組んだ事前調査を確認し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 視察での要点について整理し、取り組んだ課題について再度確認をする。
11	①授業テーマ 競技スポーツトレーニング拠点④ ②授業概要 訪問する国・都市に存在する競技スポーツ強化拠点あるいは、主要なトレーニング施設を訪問・視察し、その国におけるエリートスポーツの強化施策等について考察することができるようになる（D1,A1,A2,D1,C2）。 ③予習（120分） 事前研修時に示す資料やWEBページ等を参照し、訪問する施設について取り組んだ事前調査を確認し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 視察での要点について整理し、取り組んだ課題について再度確認をする。
12	①授業テーマ プロフェッショナルスポーツ、エンターテインメントスポーツ観戦① ②授業概要 訪問する都市・国におけるプロフェッショナルスポーツ、エンターテインメントスポーツの課題について、日本のプロフェッショナルスポーツや相当するエンターテインメントスポーツと比較しながら考察することができるようになる（D1,A1,A2,D1,C2）。 ③予習（120分） 事前研修時に示す観戦するスポーツの資料やWEBページ等を参照し、そのスポーツについて取り組んだ事前調査を確認し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 観戦・視察での要点について整理し、取り組んだ課題について再度確認をする。
13	①授業テーマ プロフェッショナルスポーツ、エンターテインメントスポーツ観戦② ②授業概要 訪問する都市・国におけるプロフェッショナルスポーツ、エンターテインメントスポーツの課題について、日本のプロフェッショナルスポーツや相当するエンターテインメントスポーツと比較しながら考察することができるようになる（D1,A1,A2,D1,C2）。 ③予習（120分）

	事前研修時に示す観戦するスポーツの資料やWEBページ等を参照し、そのスポーツについて取り組んだ事前調査を確認し、疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） 観戦・視察での要点について整理し、取り組んだ課題について再度確認をする。
14	①授業テーマ 事後研修 1 訪問地のスポーツ環境について ②授業概要 現地での実地研修を終え、それぞれのグループで訪問する都市のスポーツ環境、行政、スポーツ施設、イベントについて学修した内容を整理し、課題や特徴などを日本国内の事情と比較しながら他者に発表できる資料としてまとめることができる。（D 1,L1） ③予習（120分） 現地で学習したことについてグループで議論できるように整理する。 ④復習（120分） 研修時の課題、学習ノート、配布された授業資料や現地で入手した資料等を確認し、要点や疑問点について整理する。
15	①授業テーマ 事後研修 2 訪問地のスポーツ環境について ②授業概要 現地での実地研修を終え、それぞれのグループで学修した内容を整理し、他者に発表できる。（D 1,L1） ③予習（120分） 自身のグループで作成した発表資料を整理し、他者にわかりやすくを発表できる様に準備する。 ④復習（120分） 自身のグループの発表内容及び、他グループの発表内容を振り返りながら海外実施研修全体を通じて学修した内容を整理する。
関連科目	スポーツキャリアデザインI（SSCS2901S/SSCS2901）、オリンピック・パラリンピック論（SSCS2332S）
教科書	特に指定しません
参考書・参考URL	該当なし
連絡先・オフィスアワー	■オフィスアワー 開講時に告知します。 オフィスアワー以外の時間は日時を調整の上、研究室、またはコモンスペースで対応します。
研究比率	

